

広報たかなべ

高鍋

2017. 3. 17 NO. 405

- ・新町長が誕生しました 黒木敏之新町長が就任
- ・小澤町長退任のあいさつ ～12年間を振り返って～
- ・2017春季キャンプ in 高鍋
- ・地震などの災害に対する家庭・地域での備えは十分ですか？
～「自助」と「共助」で災害に備えましょう～
- ・宝くじの助成金で整備されました
- ・マイナンバーカードはお持ちですか？
- ・まちの話題
- ・わが町の宝物

メアリーちゃんから学ぶ国際交流

2月17日（金）に高鍋東小学校で人形まつりが行われました。平和を愛する心を育て、国際理解を図ることを目的としたこのお祭り。毎年近隣のALT（外国語指導助手）の方々などを招待し、盛大に開催されています。今回も1年生から6年生までの児童が歌や踊り、世界の国々の研究発表などを通して、ALTの方々との交流を深めました。

新町長が誕生しました

黒木敏之新町長が就任

前町長の任期満了に伴う高鍋町長選挙の結果、黒木敏之新町長が2月27日（月）から就任しました。

黒木町長は、昭和28年生まれの63歳。立教大学卒業。高鍋商工会議所会頭、高鍋町観光協会理事長などを経て、今回、初当選を果たしました。



当選証書の付与を受ける黒木新町長

施政方針

高鍋町長 黒木敏之

今般の、小澤町長の任期満了に伴い、2月12日に執行されました町長選挙におきまして、第24代町長として選任されました。その責任の重さを自覚し、一意専心、高鍋町の活性化、発展に全力で邁進していく覚悟であります。

2017年、世界経済は大きく揺れ動いています。1月のトランプ大統領の誕生による米国経済政策の保護主義への変化や、英国のEU離脱、中国経済の成長率の減速等、世界経済は予断を許さない局面にあります。日本経済は、リーマン・ショック後、穏やかな回復基調にはありますが、デフレ脱却、財政や金融政策の健全化等、課題は山積しており、世界情勢の変化に大きく左右される波乱含みの状況です。

急激に変化していく国内外の経済状況下、日本は、少子高齢化、人口減少がさらに進み、本格的な超高齢化社会を迎え、「労働者の減少」「東京一極集中」「地方の衰退」は目の前に迫った喫緊の課題です。

2014年の日本創成会議の発表では、2040年、日本の人口が1億人以下となり、3人に1人は65歳以上になる可能性が予測されています。宮崎県の人口は80万人以下となり、26ある宮崎県内の市町村の内15の市町村が消滅可能性都市、高鍋町は16番目、人口は1万5千人規模になるとの予測です。

待たなしの人口減少対策、地方の活性化策が強く求められていることから、2014年に「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、2015

年度を計画の初年度とする「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されました。その目的は、「人口減少と地域経済縮小の克服」であり、そこには3つの基本的視点があります。

- ① 「東京一極集中の是正」
- ② 「若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現」
- ③ 「地域の特性に即した地域課題の解決」

もう一つの目的、「まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立」では、3つの内容が盛り込まれています。

①「しごとの創生」若い世代が安心して働ける「相応の賃金、安定した雇用形態、やりがいのあるしごと」という「雇用の質」を重視した取り組みが重要。

②「ひとの創生」地方への新しい人の流れを作るため、若者の地方での就労を促すと共に、地方への移住・定着を促進する。安心して結婚・出産・子育てができるよう、切れ目ない支援を実現する。

③「まちの創生」地方で安心して暮らせるよう、中山間地域等、地方都市、大都市圏等の各地域の特性に即して課題を解決する。

さらに「従来の政策の検証」として5つの反省要因が挙げられています。

- ① 府省庁・制度ごとの「縦割り」構造
- ② 地域特性を考慮しない「全国一律」の手法
- ③ 効果検証を伴わない「バラマキ」
- ④ 地域に浸透しない「表面的」な施策
- ⑤ 「短期的」な成果を求める施策

この反省要因からは、これからの地方創生は「バラマキ」ではなく「質の高いチャレンジを続けているまちや地域」を支援しますという明確な意図を感じます。言い換えれば、「チャレンジしないまちは支援しない」「積極的にチャレンジするまちをさらに応援します」と捉えるべきであると考えます。

このような国内外の情勢、政府の指針を受け、高鍋町の「長期ビジョン」「まちづくり理念」「達成すべき目標」を明確にし、町議会議員及び市民の皆様とその内容を共有し、共にまちづくりを推進していく必要があると考えます。

高鍋町の長期ビジョン

それは「豊かで美しい、歴史と文教の城下まち」を目指すことであります。「歴史とは現在と過去との対話」「未来へ導く道標」という普遍的な歴史観で捉えれば、「高鍋の歴史」とは「改革の努力を積み重ねてきた歴史」のことであり、「文教」とは「改革に努力する風土の中で人材が育つ」という意味に捉える必要があります。

「改革の努力を積み重ねていく風土の中で、優れた人材が育ち、若者がチャレンジできて、やりがいのある雇用場があり、高齢者が健康で生き生きと過ごせて、子育て・教育に最適な施設と福祉環境を備えた、誰もが住みたいと思う、豊かで美しい城下まち」を目指すことを揺るぎない高鍋町のビジョンにすべきであると考えます。

それは「農畜産業が豊かになってこそ、商工業は潤い、まちは元気になる」という基本的な考え方を堅持しながら、「産業振興」「福祉・子育て・教育」「住環境の整備」の3つをまちづくりの大きな柱とし、衆知を集め、「住んでいる人が主役のまちづくり」を実践することを明確な「高鍋町のまちづくり理念」とすべきであると考えます。このビジョンと理念の基、「10の達成すべき目標」を提案いたします。

以上が、高鍋町をさらに活性化させていくために必要な目標であります。時代が目まぐるしく変化し、全国の各市町村が地域の生き残りをかけ様々なまちづくりに取り組んでいる中、高鍋町としましても、皆様と共にさらに全力でまちづくりに取り組み、より豊かでより美しいまちを、次の時代を担う子供たちに託して行かねばなりません。

「大胆の中に妙法あり」とは、児童福祉への「挑戦」に、その身を捧げた郷土の偉人・石井十次先生が、多くの困難に直面しても、決して諦めず、強い信念で語った言葉です。時に大胆に、時に繊細に、私たちは、困難を乗り越え、遅れを取り戻し、大事を急ぐ必要があります。

そのためにも、まちづくりの主役であります町民の皆様との対話を大切にし、さらなる協働を図りながら町政に取り組む所存であります。

高鍋町のさらなる活性化は、町議会議員の皆様及び町民の皆様により深いご理解とご協力がなくては到底成し得ません。高鍋町発展のため、何卒一層のご協力と力強いご支援を賜りますようお願いを申し上げます。私の施政への所信といたします。

達成すべき目標

①	農畜産業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・農畜産品のブランド化及び6次産業化を促進 ・農畜産品の販売促進 ・高鍋農業高校、農業大学校との連携促進 ・農畜産品販売所を企業誘致により設置 ・JA児湯との連携促進 ・農業後継者、新規就農者の育成支援 ・家畜伝染病の防疫強化
②	福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・石井十次先生生誕の地として「福祉のまち」を目指す ・子育て世代の生活と雇用の支援 ・児童、生徒の給食費、医療費の支援 ・放課後児童クラブ、子ども食堂等の児童支援 ・高齢者や障がい者が生き活きと暮らせるための支援
③	企業誘致 雇用創出	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致助成制度の見直し ・積極的な企業誘致活動の実践 ・起業家の育成支援 ・南九州大学との定期的な話し合いの場を持ち、企業誘致を目指す ・空き家、空き店舗を利用したレンタルオフィス、シェアオフィスの推進 ・ワーク・イン・レジデンスの推進 ・誘致企業との意見交換会の開催
④	商工業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと納税制度」を積極的に推進し、併せて地場産業、商工業の発展を推進 ・商工業者、地場産業者との意見交換会の開催 ・時代に即した商店街の支援 ・空き店舗対策の促進 ・地場産品開発支援 ・地場産品の販売促進支援 ・事業家、後継者の育成支援 ・商工会議所との連携促進
⑤	観光促進	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食業を観光産業の柱として支援 ・高鍋駅舎の整備促進 ・飲食店のメニュー開発、商品開発、品質向上の支援 ・城下町の景観創りの促進 ・高鍋城址舞鶴公園の整備促進 ・持田古墳群と花守山の連携を図り、さらに西都原古墳群との連携による世界遺産登録推進 ・高鍋城灯籠まつり、キャベツ畑のひまわり祭り、サーフィン大会等に対する支援 ・高鍋町の伝説、伝統芸能に関する支援
⑥	文教のまちの再生 教育支援	<ul style="list-style-type: none"> ・高鍋高校と東、西中学校の中高一貫教育の仕組みづくりの推進 ・図書館の見直し、新たな図書館建設の推進 ・スポーツ、文化活動の支援 ・スポーツ施設の整備
⑦	防災 環境整備 美しい高鍋づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・防災対策及び防災施設の建設促進 ・竹鳩橋の整備促進 ・災害危険箇所等、未整備インフラの整備促進 ・コンパクトで美しく機能性に満ちたまちづくりの推進
⑧	人口増加 定住支援	<ul style="list-style-type: none"> ・お試し滞在事業の充実 ・積極的な定住促進支援制度の導入
⑨	町民参画による まちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会づくりの推進 ・町政情報の積極的な発信 ・町民を対象とした広聴の場、対話の場づくりの推進
⑩	役場の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の皆様が親しまれる役場づくりの推進 ・各課の明確な年度目標の設定 ・役場全体の年度目標を全職員で共有化 ・笑顔、あいさつ、就業前掃除の推進 ・町長は、年1回、課長、課長補佐と個人面談を実施 ・課長は、年1回、課の職員との個人面談を実施 ・朝礼、終礼の実施を推進 ・社会教育施設等町が所有する公の施設について指定管理者制度の導入を検討し、経費節約と活性化を推進

小澤町長退任のあいさつ

12年間を振り返って



このたび、私は2月26日をもって任期満了により高鍋町長の職を退任いたしました。

平成17年2月に町長に就任させていただき、3期12年にわたり、町民が主役のまちづくりを基本理念として、町政を進めてまいりました。この間、町民の皆様をはじめ、多くの方々から、格別のご支援とご厚情を賜り、職責を果たすことができましたことを、心から深く感謝申し上げます。

私は、町長就任時から「みんなが誇りを持ち、安心して暮らせるまち」「活力にあふれたまち」にしたいという思いで、懸命の努力を続けてまいりましたが、まず、印象に残っている事は、当時の高

鍋町の危機的な財政状況でございます。組織体制の見直しや事務事業評価制度の導入をはじめ、職員意識改革、自主財源の確保や徹底した歳出の抑制の結果、公債費の大幅な縮減や各種基金の積み増しなど、財政健全化に繋がり、住民福祉の向上や安心・安全に暮らせるまちづくりの土台を作ることができました。

そして、「子どもがにぎわうまちづくり」を目指して取り組んできました子ども医療費助成の拡充や延長保育事業、放課後児童クラブ事業、ファミリーサポートセンター事業といった子育て支援事業のほか、基幹相談支援センター事業をはじめとする福祉の充実、屋内多目的広場の整備や野球キャンプの誘致によるスポーツの振興、小中学校の施設整備による教育の振興、農業後継者育成事業やまちなか商業活性化事業、企業誘致などの産業の振興、そして何よりも、町民の皆様の安心と安全を



考え、自主防

災組織の育成や防災行政無線の整備など、安心して暮らせるまちづくりのため、可能な限りの施策を進めてまいりました。

これもひとえに、町民の皆様や、公民館をはじめとする各組織・機関の皆様、そして議員各位のご支援やご協力のもと、一致団結して取り組んできたからこそ、成し遂げられたと思っております。

私の任期中には、平成17年台風14号からはじまり、各種災害や鳥インフルエンザ、口蹄疫の発生など多くの困難がありました。皆様と一緒に課題の解決に取り組むことができたことに、とても感謝いたしております。

高鍋城灯籠まつりやきゃべつ畑のひまわり祭り、西都児湯鍋合戦といった宮崎県を代表するまでになったイベントや、ギョーザや焼酎、野菜をはじめ、町内産業の溢れる魅力を肌で感じながら私はこの12年間、全力で職務を全うすることができました。退任後は、一町民としてさらなる高鍋町の発展のために努めてまいりたいと考えております。



料理教室にて、町内の子どもたちに魚の三枚おろしを披露

終わりに、町民の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしますとともに、皆様からいただきましたご支援とご厚情、ご協力に改めて感謝とお礼を申し上げます。退任のごあいさつとさせていただきます。

12年間、本当にありがとうございました。

2月26日(日)、高鍋町中央公民館にて小澤町長退任に伴う花束贈呈式が行われました。

式では、集まった役場職員や関係者に対し町長としての最後の挨拶があり、最後に総務課職員から花束が贈られました。

小澤町長、長い間お疲れ様でした。そしてありがとうございます。





名古屋商科大学

愛知大学野球連盟の2部Bリーグに所属。高鍋でキャンプを行うのは今年で4回目となった同大学は、2月6日(月)から10日(金)まで総勢55人でキャンプを行いました。

上川恭宏監督は「今回のキャンプでは、たくさん打って・捕って・投げて、個々のレベルアップを目指し、またチームの団結力も深めたい」と話してくれました。



上川監督と名古屋商科大学野球部メンバー



朝日大学

ASAHI UNIV

東海地区大学野球連盟に所属。高鍋でキャンプを行うのは今年初めてとなる同大学は、2月11日(土・祝)から15日(水)まで総勢84人でキャンプを行いました。

藤田明宏監督は「施設の整っている高鍋の地で練習に思い切り打ちこみ、実り多いキャンプにし、チーム力を上げて岐阜リーグを制したい」と話してくれました。



藤田監督と朝日大学野球部メンバー



JFE東日本

今年で7回目のキャンプを行う同社は、2月18日(土)から27日(月)まで総勢37人でキャンプを行いました。

道方康友監督は「慣れ親しんだ高鍋の地から新しいスタートを切り、まずは南関東地区予選突破、そして都市対抗野球大会優勝を目指し、今回のキャンプを充実したものにしたい」と話してくれました。



道方監督とJFE東日本野球部メンバー



今年も高鍋に春の訪れを告げるキャンプシーズンが到来。大学生から社会人までの5チームが高鍋町営野球場を中心に2月6日から3月20日までの期間、春季キャンプを行っています。



桐蔭横浜大学

神奈川大学野球連盟の1部リーグに所属。今年で最多の10回目のキャンプとなった同大学は、3月3日(金)から12日(日)まで総勢82人でキャンプを行いました。

齊藤博久監督は「昨年の春季リーグ戦では優勝し結果を残すことが出来た。今度の春季リーグ戦優勝、そして日本一を目指し、練習に打ち込みたい」と話してくれました。



齊藤監督と桐蔭横浜大学野球部メンバー



北海道科学大学

北海道科学大学 北海道科学大学短期大学部 Professional

札幌学生野球連盟の2部リーグに所属。今年で2回目のキャンプとなる同大学は、3月16日(木)から20日(月・祝)までキャンプを行います。

岡山翔太監督は「昨年のキャンプでは手厚い支援をしていただき感謝している。今回のキャンプでは時間を有効に使い、春季リーグ戦で良い結果が出せるよう練習に励みたい」と話してくれました。



北海道科学大学野球部メンバー

選手の皆さんの元気の源！！

毎年、選手の皆さんに大好評の振る舞い。今年も協賛団体などのご協力により、焼きたてのギョーザとハーブ牛の焼き肉が振る舞われました。



～いつもありがとうございます～ 春季キャンプ激励品協賛団体

- ・児湯農業協同組合
- ・高鍋商工会議所
- ・高鍋町観光協会
- ・宮崎県乳用牛肥育事業農業協同組合
- ・宮崎県農協果汁株式会社
- ・南九州コカ・コーラボトリング株式会社

地震などの災害に対する家庭・地域での備えは十分ですか？ ～「自助」と「共助」で災害に備えましょう～

災害が突然起こったとき、自分自身や家族の生命を守り、被害を最小限に抑えるためには、一人ひとりの普段の備え「自助」と、地域の人々による助け合い「共助」がとても重要です。

○家庭での備え - 「自助」の取り組み-

- 1 最低**3日分**、できれば**1週間分**の食料や飲料水などを備蓄しましょう。
特に飲料水は、大人1人1日あたり**3リットル**が目安です。
- 2 ラジオや懐中電灯、医薬品など非常持出品を準備しましょう。
また、ご家庭の状況に応じた必需品も揃えておきましょう。
- 3 テレビやタンス、食器棚などの家具の転倒防止をしましょう。
- 4 避難所の場所や安全な避難経路を確認しておきましょう。
- 5 災害時における家族間の連絡方法を確認しておきましょう。
- 6 自宅の耐震性の点検、耐震補強を行いましょう。



◇ご家庭の状況に応じた災害用必需品の例◇

- ① 乳幼児のいるご家庭
粉ミルク・ほ乳瓶・消毒セット・離乳食・紙おむつ・お尻ふき・母子手帳など
- ② 要介護者のいるご家庭
介護用品・入れ歯・補聴器・大人用紙おむつ・常備薬・障がい者手帳など
- ③ 妊婦のいるご家庭
生理用品・ガーゼ・新生児用品・母子手帳など
- ④ ペットを飼われているご家庭
ペットフード・ペット用品・飼い主の連絡先など



○地域での備え - 「共助」の取り組み-

- 1 自治公民館や防災組織が主催する避難訓練等へ積極的に参加しましょう。
- 2 地域で消火器、担架、テント、救出用具などの防災資機材を揃えておきましょう。
- 3 高齢者や障がい者など、災害時、弱い立場にある方々への情報伝達や避難方法について検討しておきましょう。



宝くじの助成金で整備されました

(一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献事業の一環として行っているコミュニティ助成事業の中の地域防災組織育成事業により、東児湯少年婦人(女性)防火委員会に防火広報用視聴覚資機材(テレビ、デジタル一眼カメラ、ビデオカメラ等)が整備されました。



マイナンバーカードは お持ちですか？



公式キャラクター
マイナちゃん

平成27年10月から通知され、平成28年1月に利用が開始されたマイナンバー制度。皆さんはマイナンバーカードを持っていますか？

今後は、**就職・転職・出産育児・病气・年金受給・災害等**、多くの場面で個人番号の提示が必要となります。

その際、通知カードであれば、運転免許証や旅券(パスポート)等の本人確認書類が必要となりますが、マイナンバーカードがあれば、それ**1枚で番号確認と本人確認が可能**となるので、各種手続きがスムーズになり、とても便利です。

ただし、マイナンバーカードの裏面に記載されている番号はとも重要なものなので、番号はむやみに提供しないようにしましょう。



◎100歳おめでとう

菖蒲池西出身の竹森辰雄さんが元気に100歳を迎えました。甘いものが好きという竹森さん。これからどうぞお元気で！



優しい笑顔で話してくれた竹森さん

◎100歳おめでとう

蚊口中出身の中須ハツさんが元気に100歳を迎えました。3食きちんと食べているという中須さん。相撲が大好きと話してくれました。これからもどうぞお元気で！



「みなさんに感謝しています」と話してくれた中須さん

◎100歳おめでとう

黒谷出身の尾崎テツさんが元気に100歳を迎えました。これからどうぞお元気で！

◎野球の指導方法を学ぶ

2月8日(水)、名古屋商科大学の中村順司総監督のもと、町内で野球の指導に携わる方々を対象に指導者教室が開催され、30の方が参加しました。楽しく分かりやすい指導方法に、参加者も真剣な眼差しで講習を受けていました。



いろいろな野球選手のフォームを例に出しながら指導される中村総監督

◎家庭の味を次の世代へ

2月11日(土・祝)、今年で7回目となる「たかなべ食の文化祭」が高鍋町健康づくりセンターで行われました。参加者は約80人となり、それぞれが持ち寄った料理の品数は117品にもものぼりました。参加者は、それぞれ料理に込めた思いを紹介した後、お互いの家庭の味を笑顔で楽しんでいました。



レシピを見ながら、それぞれの料理の思い出話を花を咲かせる参加者

◎東西中卓球部大健闘！

2月18日(土) 19日(日)の2日間、長崎県で全九州卓球選手権大会が行われ、高鍋東中学校女子卓球部と高鍋西中学校男子卓球部が出場しました。結果は惜しくも予選敗退でしたが、今回の経験を糧に、更なる飛躍を期待しています。



九州大会出場前に、決意を語った東中女子卓球部と西中男子卓球部

◎生涯楽しく学ぼう

2月26日(日)、第26回高鍋町生涯学習推進大会、第43回高鍋町自治公民館大会が高鍋町中央公民館で行われ、事例発表や表彰のほか、宮崎県立看護大学教授の江藤敏治氏の講演、公民館教室生による作品展・発表会がありました。



客席まで降り、直接問いかける江藤教授

◎最後まで全力で走り抜く

3月5日(日)、「第43回舞鶴ロードレース大会 in ルピナス」が宮崎県立農業大学校・ルピナスパークで行われました。春の訪れを感じる暖かさに包まれるなか、495人の参加者はそれぞれゴールを目指し、元気にコースを駆け抜けました。



スタートの合図とともに勢いよく駆け出す参加者

せいぼサークルのご案内

いつでも遊びにきてください。お子さまと、遊具やおもちゃで遊ばませんか。歌をうたったり、紙芝居を見たりゲームをいっしょにしましょう。駐車は、内田花屋さん前黒木本店駐車場カトリックをご利用ください。(毎日午前中、園庭を開放しています。)



認定こども園 **高鍋カトリック聖母幼稚園**
住所 高鍋町大字北高鍋755-1 電話 0983-23-1500

※この欄は広告です。お問い合わせは、広告主へ。

わが町の宝物

このコーナーは、9・10カ月児健診に来たお子さんを紹介しています。今回は、1月・2月の健診に来た元気なちびっこたちです！

みんな
元気に
育ってね。



かわこえ そら
川越 優空ちゃん



えびはら はな
海老原 華ちゃん



ひがし ももか
東 桃叶ちゃん



りゅう けん
劉 健翔ちゃん



いとう りゅうこ
伊藤 琉悟ちゃん



あべ ゆうた
阿部 佑汰ちゃん



くぼた しの
久保田 志乃ちゃん



さの れい
佐野 零ちゃん



のざき たくと
野崎 拓人ちゃん



ふるや
古谷 ひよりちゃん



やまぐち ゆあ
山口 結愛ちゃん



ゆすだ はるか
安田 悠叶ちゃん



くろき ひなた
黒木 優陽ちゃん



たけなか ことね
竹中 琴音ちゃん



にしむら みく
西村 心空ちゃん



すぎお りひと
杉尾 侑仁ちゃん



かすや はるき
糟谷 治樹ちゃん



なかず こころ
中須 心音ちゃん



うえの ほのか
上野 帆乃夏ちゃん



ながい こあ
永井 心彩ちゃん



さかた はるま
坂田 悠真ちゃん



ほりぐち しゅんたろう
堀口 春太郎ちゃん



おおつ あやね
大津 絢音ちゃん



いけえ ここあ
池江 心愛ちゃん



かとう あおば
加藤 蒼葉ちゃん



みやた りゅうま
宮田 龍舞ちゃん



えとう みずき
江藤 瑞季ちゃん

平成29年4月「西都児湯消費生活相談センター」開設

開設日：月～金（土、日、祝日、12月29日～1月3日までを除く）
 開設時間：午前8時25分～午後5時10分（正午～午後1時までを除く）
 開設場所：高鍋町役場1階 町民生活課横
 相談電話：0983-23-2110（4月3日から）

相談無料！！
秘密厳守！！



広報たかなべ 2017. 3. 17 NO. 405

編集・発行／宮崎県高鍋町
 〒884-8655 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437
 政策推進課／☎0983-26-2003
<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp>
 ※「広報たかなべ」は町ホームページでもご覧になれます。



人口と世帯数（3月1日現在・前月比）

人口／20,789人（-32）
 男性／9,774人（-4）
 女性／11,015人（-28）
 世帯数／8,651世帯（-5）



高鍋城 桜まつり 2017 ～桜と人と暮らふと～

と き：3月26日（日）
 じかん：午前10時～午後3時
 ところ：舞鶴公園